

講 座 名		日 程	受講者数	
盲・小 養小 ・小 ・小	小学校地区別理科現地(南会津)	6月16日 ～6月17日	10	
	” (会津)	6月30日 ～7月1日	16	
	小学校生徒指導	7月4日 ～7月6日	34	
中 学 校 (中 ・ 盲 ・ 聾 ・ 養)	中学校道徳	11月7日 ～11月9日	25	
	中学校特別活動	12月19日 ～12月21日	25	
	中学校理科	8月10日 ～8月12日	18	
	中学校技術・家庭科「情報基礎」 (前期)	6月15日 ～6月17日	30	
” (後期)	7月13日 ～7月15日	30		
高 等 学 校 (高 ・ 盲 ・ 聾 ・ 養)	高等学校芸術科(音楽)実技	11月30日 ～12月2日	22	
	高等学校芸術科(書道)実技	9月19日 ～9月21日	7	
	オーラル・コミュニケーション (1班)	6月6日 ～6月8日	30	
	” (2班)	10月24日 ～10月26日	30	
	高等学校理科 (物理・化学・地学)	10月26日 ～10月28日	11	
	高等学校理科(生物)	6月27日 ～6月29日	12	
	高等学校家庭科情報処理研修 (前期)	6月29日 ～7月1日	10	
	” (後期)	8月17日 ～8月19日	9	
	高等学校家庭科実技	11月30日 ～12月2日	10	
	高等学校理科実習助手実技	9月20日 ～9月22日	16	
	高 等 学 校 情 報 処 理 教 育	汎用機言語 Ⅰ	7月4日 ～7月7日	14
		汎用機言語 Ⅱ	9月19日 ～9月22日	12
		パソコン言語	5月31日 ～6月3日	36
CAI		1月10日 ～1月13日	20	
CM I		6月27日 ～6月30日	27	
応 用		12月19日 ～12月22日	13	
学校カウンセラー (初級)	6月27日 6月29日	50		

③ 専門研修Ⅲ

講 座 名		日 程	受講者数
専 門 研 修 Ⅲ	学校経営(A) (前期)	6月6日 ～6月9日	31
	” (中期)	8月17日 ～8月19日	31
	” (後期)	1月18日 ～1月20日	31
	学校経営(B) (前期)	6月27日 ～6月30日	31
	” (中期)	8月29日 ～8月31日	31
	” (後期)	2月1日 ～2月3日	30
	教育研究法 (前期)	6月20日 ～6月23日	37
	” (中期)	8月22日 ～8月24日	37
	” (後期)	1月23日 ～1月25日	37

第3節 教育研究

1 学力診断テスト研究開発

現在、各小・中学校では21世紀をめざす児童生徒の教育の指針となる新学習指導要領に基づき、児童生徒の主体性や個性の伸長を図り、一人一人の確かな学力の定着・向上を図ることへの努力が払われている。これらの取り組みを実効あるものにするためには、新学習指導要領に示す新学力観に基づく児童生徒一人一人の学習状況や学力の実態を的確にとらえる研究をするとともに、個性や能力に応じた学習指導の改善が急務の課題となっている。そこで、県教育委員会の重点施策である「学力向上」の具現化及び各学校における新学習指導要領の趣旨の実現に應えるため、新学習指導要領に示された学力観に基づく(新)「学力診断テスト」について小学5年、中学1年・3年分を研究開発した。

小学4年・6年、中学2年分については平成2年度に義務教育課と共同で、「教科内容診断テスト」として開発したところであるが、小学5年、中学1・3年に準じて見直しを図り、(新)「学力診断テスト」に移行するため研究開発を進めているところである。これにより各小中学校で新テストを連続して使用することが可能となる。

2 学力向上調査研究プロジェクト

学習指導部(事務局)

(1) 研究の趣旨

現在、「学力向上」は、本県にとって最も大きな教育上の課題であるとされる。いわゆる「新しい学力観」の立場に立ち、より本質的な学力を体得させるとともに、「進路実現を可能とする学力」もまた、着実に身に付けさせることが重要な課題となっている。そのため、本センターでは、平成5年10月、本プロジェクトを発足させるとともに、さまざまな調査活動を行い、児童生徒の学力を幅広い視点からとらえて今後の研究の基礎に資したいと考えるものである。